

イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 1

— 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

道総研 中央水産試験場 資源管理部
後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

・4月27日時点で体長20mm台後半～30mm台前半が幅広く漁獲されました。

調査の概要

2020年4月27日に島牧海域においてコウナゴの初水揚げがありました。初漁の漁獲物から標本をとって測定しましたので、結果をお知らせします。島牧漁業協同組合をはじめ、調査にご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

初漁日の体長組成

上の図は今年の初漁日の体長組成、下の図は前年の初漁日の体長組成です。

今年の漁獲物の体長サイズの範囲は18-39mmで、前年（11-39mm）と比べると小型（20mm未満）のコウナゴが見られませんでした。

前年は体長11mm-39mmの幅広い中で31-34mmが主体でしたが、今年は18-39mmと10mm台が少なく、26～34mmと主体は広がった組成となっていました。

漁期前半は、この26-34mmの群が漁獲の主体で、5月中旬には50mm台に成長すると思われます。

今後も漁獲状況や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

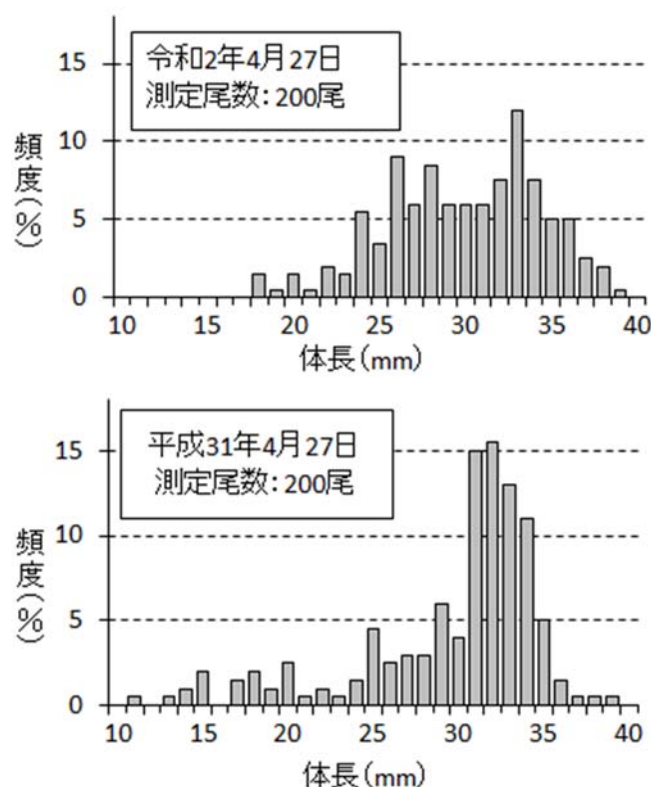


図 令和2年（今年：上）と平成31年（前年：下）の体長組成